

県設備設計事務所協会会員大会

若い技術者に希望を

県設備設計事務所協会(小島眞史会長)は14日、鹿児島市の城山観光ホテルで17年度会員大会を開き、来賓や賛助会員ら約200人が出席した。会員大会では、初めに小島会長が「協会を発足して20年になりました。時代の変化とともに設備設計に求められるニーズも多様化、高度化し、ますます重要性を増してまいります。一層、協会皆で協力し、技術の研さんを重ね業務の省力及び効率化できるよう努力まい進して、若い技術者が希望を持てる協会にしたい」と思いを述べ、今後とも変わらぬ指導・支援をお願いいたしますと挨拶。

通常総会も開催

技術の研さん向上を

また、会員大会に先立ち、17年度通常総会も開かれ、技術の研さん向上などを重点事項とする新年度事業計画を決めた。総会の冒頭、小島会長が「われわれは生き残りが、地元の里中学校と上

次県土木建築技監兼任宅課長、角田正雄鹿児島市建設局建築部長、柴立鉄彦県議、増田眞朗県議、赤崎正剛鹿児島市議が祝辞を寄せた。

このあと、赤坂裕鹿児島大学工学部教授が「ヨーロッパの都市と歴史と街並み」と題し講演を行った。

新年度事業計画は、①新規事業開拓への活動②新たな市場環境への対応と技術の研さん向上③全県参加の協会活動④賛助会活動の活性化など。

嶺崎2号橋現場見学会

地元中学生 将来の参考に

県川内土木事務所鹿島土木出張所は4、5日、薩摩川内市里町の県道嶺崎2号橋(上部工)現場見学会を実施した。

見学会は、施工中の建設現場を間近で見ることができ、土木工事の仕組みを学ぶとともに、公共事業のイメージアップを図り、また「嶺崎」とへの関心、将来に対する意識向上につなげてもらうと企画し、施工者の協力を得て実現した。

「原嶺島土木出張所では、今日の見学会を通じて県民に理解していただき、また将来の自分たちの進路の参考にしたい」と挨拶。続いて塩屋勝彦技術主査が資料や図面を用いて事業概要や施工手順、橋梁の分類・構造、ツェン(移動作業車)による特殊な工法等について説明した。



施工現場を興味深く見学する児童ら。薩摩川内市の現場で、煙突博覧会代理入りの案内で高さ約30mの上部工現場へ移動し、120トンのコンクリート壁を吊り上げる様子や空洞になった上部工内部を見学。施工者のほか、記念のサインや絵を描かせてもらった。

川崎社長(川崎建設)がア
母校にボランティア
大始良中に
教卓を寄贈

鹿屋市下堀町の川崎一人(川崎建設社長)は、母校である大始良中学校(同市田淵町)に手造りの教卓9台をこのほど寄贈した。

現在使用している教卓が老朽化し同校のPTA(立神利實会長・柳立神植物園社長)から依頼された。



教卓を贈った川崎社長(右から2人目)とPTA関係者。鹿屋市の大始良中学校で。

参考になりました。これからはお仕事を頑張ってください」と感想を述べた。嶺崎2号橋は、PC2

れてボランティアで製作した教卓は木製で長さ84cm、幅60cm、高さ90cmで裏側に棚を2段設けた。川崎社長は、7月以降仕事の合間に製作を続け新学期に間に合せた。この教卓は、1~3年の全7クラスと生徒会、家庭科室で使われている。

濱田正義校長は「感謝しています。大事に使いたい」と話した。

魚の放流実習

うなぎの放流楽しむ

甲突川漁業協同組合(大内田昭理理事長)と県内水面漁業協同組合連

安全には十分に留意して作業を」と挨拶。津田和

伊敷小学校(福岡県一校)の児童76人が参加し、児童らは日頃目にする機に目を輝かせながら楽しんだ。

体験学習は、子供達が川や川魚に関心をもち、川に下り約350尾のうなぎの放流になった。児童2~3人が一組になり、うなぎをつかんでバケツに入れ、放流した。子どもたちは思い思いの地点を動き回り、楽しい一日を過ごした。

参加した大牟田勇大、徳永繁樹、川下貴生君らは「めくるめくる気持ち悪かったが慣れたら上手に捕まえられる、楽しかった」と興奮気味に話した。

県建築協会始良伊佐支部

街路等で清掃奉仕

県建築協会始良伊佐支部(南明人支部長)は14日、牧園町と霧島町の街路及び幹線道路で清掃作業を実施し、地域住民に喜ばれた。

午前8時30分、同町みやまコンセール駐車場に集合した参加者約70人は、前に南支部長は、これまで地区ごとに奉仕作業



作業前に記念写真に収まる参加者。牧園町



うなぎを手に歓声を上げる児童ら。鹿児島

奄美高校改築工事祈願祭
工期内の安全を誓う

奄美高校改築工事(管理普通教室棟)の安全祈願祭が14日現地であり、山社長(左)と川井田



来賓挨拶では平田隆義名瀬市長が「19年度から

気・設備等の施工者、学校関係者ら約60人が出席して工事の円滑な遂行と工期内の無事故無災害を祈った。

安全祈願祭では、刈り初めの儀を馬場英俊県教育次長、嶺崎初めの儀を下舞建築設計事務所の上妻建生社長、穿初めの儀を竹山建設(株)の竹山眞一郎社長と(株)新生組の川井田健一社長が力強く行った後、関係者が次々と玉ぐしを捧げた。

来賓挨拶では平田隆義名瀬市長が「19年度から